

## ふれあいキャンパス

## 多様な他者とのふれあい

11月7日（木）、連携型中高一貫教育生徒交流事業「ふれあいキャンパス」が開催されました。

ふれあいキャンパスは、連携校生徒（小瀬高・明峰中）の交流が最大の目的です。明峰中と小瀬高の生徒は、百人一首やペーパークラフト等の11講座に分かれ、様々な活動に取り組みながら互いに交流を深めました。普段の学校生活ではなかなか交流することがない「多様な他者」とコミュニケーションを取ることで、自分の世界を広げることができたのではないのでしょうか。

参加した生徒からは、「小瀬高の先輩とコミュニケーションを取りながら活動することができた」「話しかけると笑顔で話してくれる中学生が多くて楽しかった」「バドミントンの講座でペアを組んだ中学生とプレーの中でコミュニケーションが生まれた。短時間の中でも自分の成長を感じることができた」等の感想が寄せられました。



## 連携型中高一貫教育

## スポット的授業で「新たな発見」！

国語科において、中学3年生を対象に授業を行いました。授業を担当した小松崎先生は、「話す・聞く活動を通して、明峰祭で行うスピーチの準備をする」ことをねらいとして授業を行いました。

「話す活動」では、早口ことばにトライすることや1分間で300字を読むこと、目線をあげながら原稿を読むことに熱心に取り組みました。「聞く活動」では、小瀬高校のPRプレゼンを聞き、質問を考えることで、相手の伝えたいことを感じ取る練習をしました。

「話す・聞く」。普段何気なく使っている言葉やコミュニケーションの取り方について、体験を通して学ぶことができました。



継承と開拓～ここにしかない ここだからある～